



石巻西高実況中継

～学校の情報や生徒の様子をリアルタイムで家庭に届けます～

平成30年3月19日 第75号

発行者：校長 伊藤 俊

別れの季節 ～SC野島先生ありがとうございました～



〔野島美穂先生〕

「出会い」と「別れ」を繰り返すのが、学校という場所です。スクールカウンセラー（SC）の野島美穂先生は先週16日（金）が西高最後のご勤務でした。

本来であれば、離任式にも参加していただければ良いのですが、東京からのご通勤ということもあり、参加いただけませんので、今回は西高生にお別れのメッセージをいただきました。

野島先生には震災直後から、しかも東京からのご通勤ということで大変なご苦労があったかと思いますが、いつも笑顔で、親身になって西高生の相談にのっていただきました。本当にありがとうございました。

『石巻西高の皆さんへ』

西高に週に一回新幹線を通うようになって、6年半が経ちました。私の家から西高まで、距離を合計してみると、大体地球5周分くらいにはなりそうです。始めた当初はこんなに長く来ることになるとは思っていませんでしたので、自分でも驚いています。

震災特別派遣というなんだかすごい名前で作って来てはみたものの、私に正直どれ程のことが出来たのか心許無くもあり、心残りもいっぱいあります。しかし、ここまで来て、皆さんに会えたことはとても良かったと思っています。

もし、私がみなさんにちゃんと会わなかったら、震災をめぐる報道でしか知らなかったとしたら、私はこの地域を“被災地”として、そして、ここにいるみなさんを悲しみの中に生きる、かわいそうな、かわい存在だと勝手にカテゴリー分けして、勘違いしていたかもしれません。

あの震災で悲しい思いや不安な思いをされたという方ももちろん多いでしょうし、そういった話も聞きました。でも、それだけではなく、楽しそうに笑ったり、遅しく、日々頑張っているみなさんの姿もたくさん見ることができました。

自分が色々大変でも、兄弟の面倒をみたり、祖父母を助けたり、親を気遣ったりなど、家族思いの生徒さんがとても多いことも分かりましたし、お忙しい中でも、生徒のみなさんを大事に思い、熱心に関わろうとしている先生方の姿には頭が下がる思いでした。

保護者の方々も、それぞれのご事情の中、ギリギリのところまで精一杯家族のために頑張っているお話も何度も聞かれました。

こうした世に大きく知られることは少ない、無名の人々の頑張りや、小さくても英雄的な行為というのをたくさん知ることができるのが、私の仕事の良いことの1つだと思っています、今回みなさんに会えたこともとても嬉しく思っています。

ずっと東京に住んできた田舎のない私にとって、この場所は思い入れのある特別な場所になりました。また、きっと様子を見に来ますね。

みなさん、どうもありがとうございました。

スクールカウンセラー 野島 美穂

～今後の予定～

- 3月23日（金）休業式
- 3月27日（火）合格者説明会
- 3月29日（木）離任式
- 4月9日（月）【午前】始業式 新任式 【午後】入学式
- 4月10日（火）対面式 部紹介

